

番所崎貝類同定ガイド・Millennium Version

大垣俊一

和歌山県白浜の番所崎では、1985年以降、軟体動物全種（1994年までは後鰓類を除く）を対象に、毎年のモニタリング調査が行われているが（詳細は Ohgaki et al. 1999, Benthos Research 54: 47-58 を参照）、その過程で、調査の円滑、正確を期して、参加者向けに同定ガイドを編集し、改訂を行ってきた。最初のもは 1993 年に作られ、以後 1998 年までに 5 版を重ねたが、この間、番所崎調査のみならず、紀州田辺湾周辺での貝類調査、観察に活用されて、比較的好評を得ている。このことに加え、近年、貝の分類で従来の見解の整理、変更が多々見受けられることから、こうした知見を取り入れ、また 2001 年までの経験を加えて、より広く公表することにした。

この同定ガイドは、自由にコピーしてフィールドで活用して頂いてよいが、その成り立ちから来る制限もあるので、以下のことに留意されたい。まず、本ガイドの記述は、原則として白浜番所崎の調査地、ないし紀州田辺湾周辺を念頭において書かれているので、必ずしも各種の一般の形態や生態を反映するとは限らない。また、このガイドに掲載した種の選択基準は、調査地に頻出するとか、経験的に誤同定が出やすいなどであり、配列やグループ分けのスタイルを含めて、多分に編集者の恣意が含まれている。また、未だ調査地に出現記録のないものも、今後のことを考えて入れている場合があり、番所崎調査地での出現種リストの意味を持つものではないことに注意して頂きたい。

本ガイド作成に当たっては、以前の版のものも含め、多数の図鑑、文献類や、多くの方々の助言を参考にした。その一々を挙げることはできないが、調査開始後に特に有益な助言を頂いた以下の方々に、お礼を申し上げたい。

黒住耐二、小菅丈治、佐々木猛智、竹之内孝一、高田宣武、鳥越兼治、長谷川和範、平野義明、野田泰一、矢野重文、遊佐陽一

改訂を重ねているとはいえ、このガイドにはまだ修正を要する不備が多くあると思われる。お気づきの点は編者（大垣、巻末 Newsletter 事務局）まで、ご意見をお寄せ下されば幸いである。

番所崎貝類・同定ガイド

目次

1. ヒザラガイ類
2. ウスヒザラガイ類
3. アワビ類
4. スカシガイ類
5. コガモガイ類
6. アオガイ類
7. カラマツガイ類
8. その他の小型笠貝
9. コビトウラウズとチビアシヤ
10. クボガイ類
11. ニシキウズ類
12. アマオブネとアマガイ
13. 海藻上小型種 岩礁先端①
14. 海藻上小型種 岩礁先端②
15. 海藻上小型種 プール内
16. タマキビ類
17. 小型タカラガイ類
18. ムラサキウニの寄生貝
19. ヘビガイ類
20. 付着性小型円形種
21. 小型アクキガイ類
22. 中型アクキガイ類
23. ヤタテガイ類
24. ネジガイ類
25. イソアワモチとヒメアワモチ
26. ミドリガイ類
27. アメフラシ類
28. エガイ類
29. イガイ類
30. ウグイスガイ類
31. カキ類
32. キクザルガイ類

1. ヒザラガイ類

ヒザラガイ： 中央の殻板は広く、周縁の肉帯に、大きさのそろった、じゅうたん状の突起がある。最も普通。

リュウキュウヒザラガイ： ヒザラガイに似るがやや小型できゃしゃな感じ。肉帯は狭い。肉帯の突起は長短あり、長い突起がまばらに散在する。

ニシキヒザラガイ： 肉帯に突起も鱗片もなく、さわるとツルツル。しばしば全体が鮮やかに彩色される。

ケハダヒザラガイ： 形はやや円に近く、殻板列は狭く棒状で、肉帯が広く（片側で殻板列の3倍以上）、毛束列がある。末端の殻板は丸い。番所崎にはほとんど出ない。

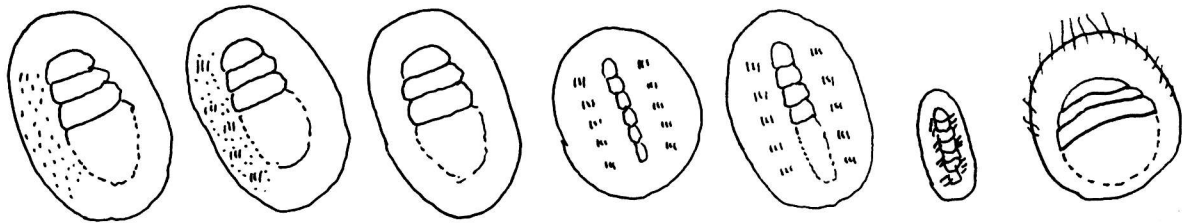


ケハダ ヒメ

ヒメケハダヒザラガイ： 全体の輪郭はヒザラガイに近い。肉帯によく目立つ2列の毛束列がある。末端の殻板は狭い。番所崎では普通。

ビロードヒザラガイ： 小型で細長く、明るい茶色のものが多い。肉帯の毛束列は白く光り、殻板に接する。

ババガセ： 外形は最も円に近い。殻板は広く、肉帯に長い毛がある。



ヒザラガイ リュウキュウヒザラガイ ニシキヒザラガイ ケハダヒザラガイ ヒメケハダヒザラガイ ビロードヒザラガイ ババガセ

2. ウスヒザラガイ類

小型 (1-2cm)で、殻板は広く、肉帯が狭い。表面は全体にツルツルした感じ。プール内の転石の下に見られる。種の同定にはルーペがいる。

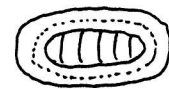
殻板中央に縦肋なし

〔 楕円形で、肉帯は黒いシマ模様で仕切られる。最も普通。 -- ウスヒザラガイ
〔 体側は平行的で細長い。ぐると肉帯を囲む、はげたような白いスジがある。

----- ホソウスヒザラガイ



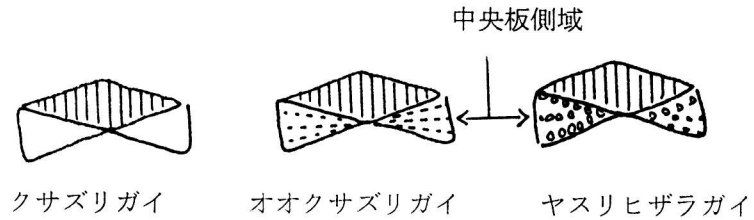
ウスヒザラ



ホソウスヒザラ

殻板中央に縦肋あり

〔 中央板の側域は平滑 ----- クサズリガイ
〔 中央板の側域に3列の細かいイボ列 ----- オオクサズリガイ
〔 中央板の側域に指状の突起列 ----- ヤスリヒザラガイ



3. アワビ類

イボアナゴ： 殻は円に近く、殻表にゴツゴツした起伏がある。殻頂は段を成して盛り上がる。殻表の穴は4～5。最も普通。



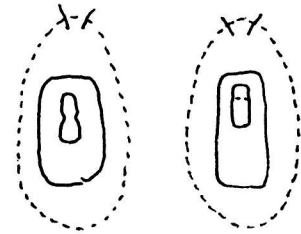
トコブシ： 殻はやや細長い楕円形。殻表は起伏に乏しく、細かい筋がある。穴は6～8。主に転石下。

クロアワビ： 殻表に起伏は乏しく、シワがある。穴は3～4で、穴の周囲が突出する。まれに幼貝が出る。

4. スカシガイ類

…肉帯が大きく、薄い笠形の殻がその上に乗る。

ヒラスカシガイ： 殻頂の穴は中央付近に位置する。岩礁先端に普通。

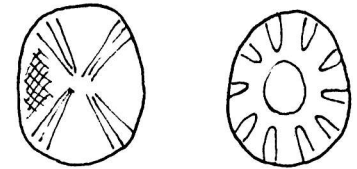


スカシガイ： 殻頂の穴は前に寄り、斜めに切れこむ。

ヒラスカシ スカシ

5. コガモガイ類

ヒメコザラ： 殻は四角に近い楕円。模様は細かく網目状に見える。四隅への放射模様が出ることが多い。殻表の肋線は明瞭で、コガモガイより密、コモレビコガモガイより粗い。他の貝に付くものは殻高が高く、ツボミガイ型と呼ばれる。足裏を透かして見える生殖腺は緑色。



ヒメコザラ コガモガイ類

コガモガイ類： 殻は下ぶくれに近い楕円。模様はまだら、放射線模様などいろいろだが、ヒメコザラに比べて大柄でぼんやりしている。この類の3種は、ルーペで肋線の形状を見て区別する。足裏を透かして見える生殖腺はあずき色。

コガモガイ： 茶色の地に白斑または白太線。殻表マメツすることが多い。肋線は太く粗い。殻は比較的高く、釣鐘型的。分布は高い。

コモレビコガモガイ： 黒い地色に白い放射細線。幼貝は全体に黒く、殻周縁にのみフラッシュ状に白線が入ることがある。番所崎ではほとんど小型個体のみ。肋線は細かく密で、殻表はなめらかな感じ。分布は低く、ヒバリガイモドキやムラサキインコの上にもつく。

オボロツキコガモガイ： 殻表なめらかで、網状のまだらに白斑を散らす。肋線は粗い。殻はやや低く、すそ広がり気味。比較的大きく (>1cm) なる。

6. アオガイ類

クサイロアオガイ： 殻はやや円に近い楕円形で、殻表中央はマメツし、周縁に規則的な白まだら模様。殻表の肋線は低く断続し、点列とならない。殻縁軟体部は青黄色。この類では中央岩盤高位に最も普通で、干出した岩表面にも出る。

クモリアオガイ： 殻表の模様は、白い鳥羽模様や、褐色一様、放射白線などさまざま。放射状に密な顆粒列があり、おろし金状に見える（ルーペ用）。小型個体が、岩盤手前のプール内転石上によく出る。

アオガイ： 殻は長楕円形で極めて平たく、殻頂は前に寄る。殻の最高所は中央付近にあり、殻頂と一致しない。殻表の肋線は弱く、ツルツルした感じ。殻縁の軟体部は黒ずむ。分布は低い。

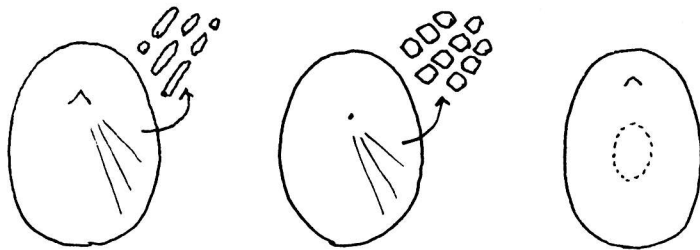
サクラアオガイ： 殻形はアオガイに似るが、殻表は赤褐色で白斑を散らす。殻縁の軟体部は白。低潮線付近でまれに出現。

※番所崎では主に以上4種だが、アオガイ類には他に以下の3種がある。

コウダカアオガイ： 殻表に薄い白まだら模様があるか、不顕著。輪郭はクサイロより円に近い。殻表の顆粒点列は顕著。殻縁軟体部は黒。分布は高い。

カスリアオガイ： 殻は最も円に近く、殻表に細長い淡色斑が放射する。

ホソスジアオガイ： 殻表に白い放射細線模様があり、小型では全体に、大型でも殻頂付近に残る。顆粒点列は不顕著。



クサイロ

クモリ

アオガイ・サクラ

7. カラマツガイ類

カラマツガイ： 殻は黄褐色。放射肋は殻頂から明瞭で連続する。プール内にも岩礁上にも出る。

シロカラマツガイ： 殻は白っぽく、模様は不明瞭。弱く白い放射肋が断続し、殻縁にのみ残るか、ないこともある。高位の浅いプールに限って見られる。

※まだ記録はないが、類似種に以下のものがある。

コウダカカラマツ： カラマツガイより殻が高く、特定の少数の白い肋線が顕著。

ヒラカラマツ： 殻は低く、周縁から突出する十数本の顕著な白肋があり、それが突き出して殻縁は強くギザギザとなる。

8. その他の小型笠貝

ウノアシ： 放射状の肋は左右相称。殻内面のへりは黒い。

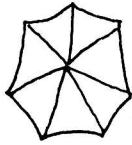
キクノハナガイ： 放射肋は左右不相称。小型は黒地に白い放射肋が明瞭。大型で

は肋が増え、全体に茶色がかかる。

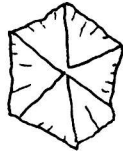
ツタノハ： 殻は白っぽいびつで、放射肋も前2種に比べて多くかつ不明瞭。殻縁はギザギザ。大型では藻類をかぶったり、表面がマメツするものが多い。殻内面は白。

キクコザラ： 白色で、放射肋は成貝ではマメツしたり、石灰藻で覆われて不明瞭なことがある。殻の内面周縁は白茶まだら。整った楕円形のものから、ツタノハ的に輪郭がギザギザのものまで変異あり。

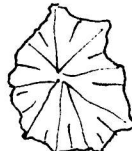
スソカケガイ： 特に殻の周縁に、放射肋が明瞭。殻は青灰色ですそ広がり富士山型。殻の先端に切れこみがある（同定の決め手。上からでは見にくいので、斜め前から見て確認する）。



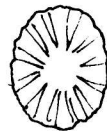
ウノアシ



キクノハナ



ツタノハ



キクコザラ



スソカケ

9. コビトウラウズとチビアシヤ

コビトウラウズ： 殻縁カド張り底面は平たく、三角錐状。底面に渦巻き状のスジがある。高位～中位の岩の隙間、浅いプール、フジツボ死殻内などに多産。



コビトウラウズ チビアシヤ

チビアシヤ： 丸みのある平巻型の殻。中位から低位のフジツボ死殻内に多い。

10. クボガイ類

…黒～黒褐色、中型の巻貝。三角錐型と、全体丸みのある型がある（下図）。



— 表面平滑、殻底肋なし ----- バテイラ



へそ穴緑色 殻表なめらか ----- クマノコガイ

殻表ゴツゴツ ----- クボガイ

へそ穴白色 殻表彫刻細かい ----- ヒメクボガイ

殻表ゴツゴツ ----- コシダカガンガラ

※上記グループより、小型、黒っぽい、表面ツルツル

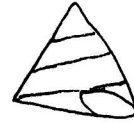


殻表に緑と赤の斑、螺塔のくびれが弱い ----- クロツケガイ

殻表黒に白いジグザグ模様。くびれ(↓)は強い --- クビレクロツケ

11. ニシキウズ類

…中～大型、三角錐型。白地に紅斑のあるものが多い。
低潮線付近に見られ、食用の採捕対象。



フタは石灰質、殻縁に強い歯車状突起。へそ穴周辺紫色。プール内に普通。

----- ウラウズガイ

フタはキチン質、岩礁先端の低潮線付近。

殻縁に歯車状突起、または強いギザギザ。殻底に強い渦巻き肋と、薄い赤のジグザグ模様。小型で殻高2 cm 程度まで。

殻縁は強く歯車状。殻底にピンク斑なし ----- ウズイチモンジ

殻縁はギザギザ。殻底中央にぼんやりしたピンク斑 --- ハクシャウズ

殻縁のギザギザはないか弱い。殻底に弱い渦巻きスジと、濃い赤のジグザグ模様。前2種より大型になる。----- ニシキウズ

※近似種ムラサキウズ（出現記録なし）は、背低く、殻底に明瞭な石畳状の紅白斑が配列。

殻高く、紅白の彩色が鮮やか。殻底はツルツルで、石畳状に紅白斑が配列するが赤が卓越。----- ベニシリダカ

殻は茶褐色だが、マメツして金属光沢が出ることが多い。殻縁はスムーズ（幼貝は歯車状）。殻底はツルツルで模様がない。----- ギンタカハマ

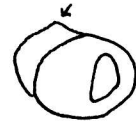
12. アマオブネとアマガイ

アマオブネ： 殻表に肋。殻底に顆粒状突起。口部周辺白色。

殻頂は突き出さず、平坦。

アマガイ： 殻表平滑で、殻底に顆粒なし。口部周辺は黄色がる。

殻形はアマオブネより巻貝的で、殻頂はやや突き出す（上図）。



13. 海藻上小型種 岩礁先端 ①

コシダカサザエ： 色は茶系統に緑、紅斑を交える。体層に密なラセン肋。フタは石灰質。普通。

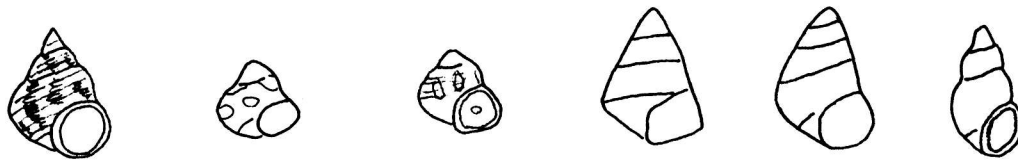
アワジチグサ： 殻表、白黒まだら模様。殻底に丸みあり。フタはキチン質。小型で5 mm まで。

サンショウスガイ： エビ茶色と白のまだら模様。殻表は粉を吹いたように青緑色になることが多い。ふたは石灰質。

チグサガイ： 三角錐、塔状の殻で、赤く彩色。殻周辺はややカド張る。

ハナチグサ： 前種に似るが、殻底ややふくらみ、周縁は丸みを帯びる。

サラサバイ： 殻表光沢あり、色は茶系統で模様は多彩。殻は丸みを帯び、各体層はくびれる。フタは白く石灰質。



コシダカサザエ アワジチグサ サンショウスガイ チグサガイ ハナチグサ サラサバイ

14. 海藻上小型種 岩礁先端 ②

フトコロガイ： 殻はややずんぐりして肩が張り、黒褐色の模様あり。

ボサツガイ： 殻表上部に縦肋があり、ゴツゴツした感じ。肋の上に黒斑が乗る。

前種と並び最も普通。

マツムシガイ： 黒白の網目模様がある。殻中央付近が最も太い。

ムギガイ： 色は茶系統で模様は不規則。殻中央よりやや下が最も太い。

ムシエビガイ： 縫合下に茶と白の交互斑。



フトコロ ボサツガイ マツムシ ムギガイ ムシエビ

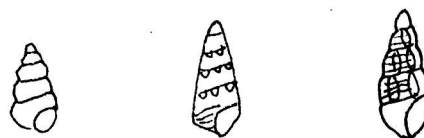
15. 海藻上小型種 プール内

…遮蔽的な場所のプール内、ホンダワラ類の上など

チャツボ： 微小 (<3mm)、黒～茶色単色で模様なし。殻縁丸みあり。

スズメハマトツボ： チャツボよりやや大で、より黒くかつ細く、体層の輪郭は直線的。殻表はツルツルで殻縁カド張り、縫合部に点々と白斑がある。殻底をルーペで見ると渦巻き状の肋が見える。

オオシマチグサカニモリ： 前2種より大。茶褐色で、粗い縦肋のために殻の輪郭はゴツゴツしている。細かい横肋あり。



チャツボ スズメハマトツボ オオシマチグサ

16. タマキビ類

タマキビ： 殻はずんぐりして、体層に数状の横肋が明らか。色は多彩だが、黄～茶色を帯びることが多い。

イボタマキビ： 体層カド張り、全体に円錐形。表面によく目立つ白いイボがある。

アラレタマキビ： 表面に縦肋と横肋が交差してアラレ模様となる。色は白灰色だが、やや黄色がかかるものもある。

タイワンタマキビ： アラレタマキビに似るが、一見丸い。表面は細い肋で刻まれ、それが細かく仕切られて石畳状となる(ルーペ要)。殻はクリーム色の地に茶色のまだらが入ることが多いが、アラレタマキビも茶色を帯びることがあり、決め手ではない。

ホソスジウズラタマキビ：上記4種に比べて細長く、殻表はツルツルで、灰白色の地に褐色模様。岩盤つけ根のがけ部分にまれに出現。



タマキビ イボタマキビ アラレタマキビ タイワントマキビ ホソスジウズラ

17. 小型タカラガイ類

メダカラ：背面黒っぽく、中央に大きめの暗色斑がある。先端岩礁付近に普通。

※近似種ツマムラサキメダカラは殻の両端に紫褐色の斑点がある。

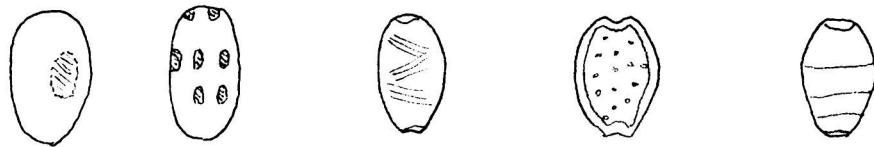
クロダカラ：メダカラに似るが殻は細長い。暗色斑は格子状、斑点状に散在する。

カミスジダカラ：薄茶色の地に、よく見ると折れ線状の褐色線がある。

カモンダカラ：殻形ややずんぐり。濃茶色の地に白斑を散らす。殻の両末端は薄紫。腹面は茶一色で光沢があり、歯が発達。

※近似種アヤマダカラは腹面が薄紫一色。

チャイロキヌタ：薄茶～薄紫一色で、中央に幅広の暗色帯あり。両末端は白い。腹面は白一色。



メダカラ クロダカラ カミスジダカラ カモンダカラ チャイロキヌタ

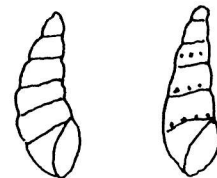
18. ムラサキウニの寄生貝

キンイロセトモノガイ：黄～クリーム色で細長い。

殻は弱く湾曲する。殻に色斑がない。

ムラサキウニヤドリニナ：黄白色。殻の湾曲は弱く

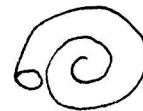
直線状。殻表に褐色点線状の色斑あり。



キンイロ ムラサキ

19. ヘビガイ類

…殻は蛇状、ラセンに巻いて岩礁に付着。



オオヘビガイ：フタなし、死殻が多いので、殻口から見て、軟体（色は黄と黒のまだら）を確認する。口部内側の外とう膜は茶褐色。この類では最も普通。

オレンジヘビガイ：殻の形態は前種に似るが、軟体は白黒まじりのオレンジ。口部内側の外とう膜は鮮やかなオレンジ色。まれ。

タツノコヘビガイ：前2種より細く、表面に竜骨状の隆起肋。革質のフタを持つ。岩礁先端に散発。

20. 付着性、小型円形種

セミアサリ： 殻は白色で、やや青緑色を帯びる。殻周辺にひだ、殻表に同心円状の細肋あり。岩上の他、カンザシゴカイの群体中にも出る。二枚貝で、幼貝は長細く密な細肋をめぐらし、普通の二枚貝形（以下は巻貝）。

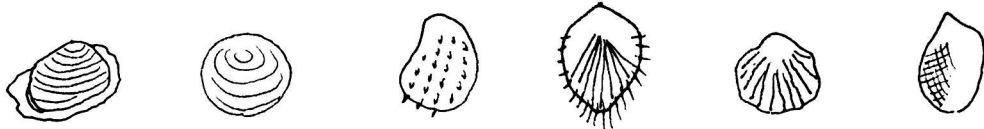
カワチドリ： 岩上に台座を作って固着。同心円状の細肋あり。

アワブネ： 殻表に放射状の棘列。殻内面の先端に隔壁あり。岩上または他の貝上。

スズメガイ： 岩上に台座を作って固着。頂部の尖った笠型で、殻周縁に殻皮毛。

キクスズメ： 他の貝上に侵食痕を作って定着。殻頂から放射状の肋があり、形は円に近いが、いびつなことが多い。殻頂はくちばし状に寝る。

シマメノウフネガイ： 他の貝上に定着。殻は薄くて茶色く、なめらか。殻形は細長く背が丸い。先端は尖ってかぎ鼻状に巻き込む。殻頂内面に明瞭な白い隔壁がある。移入種。



セミアサリ カワチドリ アワブネ スズメガイ キクスズメ シマメノウ

21. 小型アクキガイ類

レイシガイダマシモドキ： 殻周縁カド張り、縦横の肋が発達して格子を作る。高位岩盤上やプール内に普通。

コウシレイシガイダマシ： 前種に似るが、殻はやや小型で細い。縦横の肋が発達するが、横肋が密なので、前種に比べ、格子は不明瞭。まれ。

クロフレイシガイダマシ： 殻は紡錘形。殻表はマメツしていることが多いが、唇状にセットになった暗色斑が残る。

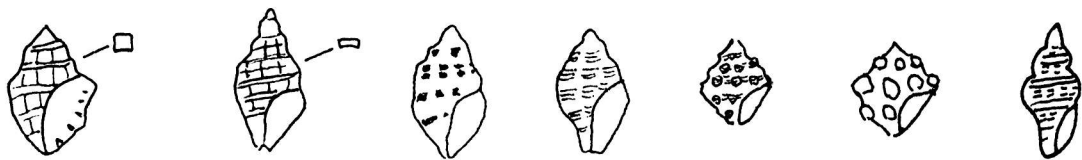
イトマキレイシガイダマシ： 形は前種に似るが、殻表に細かいシワ状の横肋。

ニッポンレイシガイダマシ： 5-10mmの小型で、殻口内は鮮紫色。殻表は灰白色で、規則的な白い結節を生ずる。

※近似種クチュムラサキレイシダマシは、殻表の結節が弱く、横縞状の横肋が目立つ。

ウネシロレイシガイダマシ： 茶褐色地に白く大きな結節が並ぶ。殻口内は黒茶色。

ゴマフヌカボラ： 小型で細長く、黒点模様の地にらせん状白帯。岩礁先端に散発。



ダマシモドキ コウシレイシ クロフ イトマキ ニッポン ウネシロ ゴマフ

22. 中型アクキガイ類

イボニシ： 殻は暗灰色単色で、殻表にイボが並ぶ。殻表突起の尖ったもの（C型）と、丸いもの（P型）がある。次種と並んで最も普通。

- シマレイシガイダマシ： 殻表イボ列帯は黒茶交互に並ぶ。軟体は緑色。
 レイシガイダマシ： 殻は均整のとれた紡錘形で、イボの並びも規則的。成貝では殻口内面に歯ができる。
 レイシガイ： 殻は白っぽく、イボは典型的には指状に飛び出し、時にへラ状。殻口内はオレンジ色。
 クリフレイシ： 前種に似るが殻はオレンジ色を帯び、殻表の突起は尖ってその先が黒くなる。殻口の上に、肩が張ったように段がつく。殻口内面は、典型的には陶器的な白色。
 ヒメヨウラク： 殻は白っぽく、細かい横肋と、粗い縦肋を持つ。ら層のくびれが明瞭。殻口内面は淡褐色。
 ウネレイシガイダマシ： 前種に似るが殻は黒っぽく、ら層のくびれは弱くて全体にずんぐり。殻口内面は紫色で、前種との区別の決め手となる。




イボニシ シマレイシ レイシダマシ レイシ クリフ ヒメヨウラク ウネレイシ

◎中型レイシガイ類－殻口と軟体の色のまとめ

	殻口内面	軟体
イボニシ	黄と黒まだら～薄いオレンジ	白～肌色
シマレイシ	淡褐色～白＋黒褐色	緑
レイシガイ	オレンジ	白～肌色
クリフレイシ	陶器的白色～オレンジ	白～肌色
ウネレイシ	鮮紫色	薄緑
ヒメヨウラク	白＋褐色	薄緑
レイシダマシモドキ	紫褐色～黒褐色	黄色

23. ヤタテガイ類

ヤタテガイ型



- 黒褐色地に不連続な黄色い縦じま ----- ヤタテガイ
- 茶色地単色 ----- クリイロヤタテ
- 上2種より細く、黄線なし。縫合下に薄い白線がある ----- ヒメクリイロヤタテ
- 黒褐色地に、不連続な黄色の縦じま（ミダレたシマ）。殻表はなめらか ----- ミダレシマヤタテ

└ フトコロガイ型



黒褐色地に、ややまばらな連続した黄色い縦じま（ナガイシマ）。各体層に数本のラセン肋を刻む（「コシマヤタテ」は本種の変異）。----- ナガイシマヤタテ
 茶褐色地に密で明瞭な黄色の縦じま（オオイシマ）殻口外縁、下から半分以上まで結節列あり。--- オオシマヤタテ



ヤタテガイ



クリイロ



ヒメクリイロ



ミダレシマ



ナガイシマ



オオシマ

24. ネジガイ類 …イソギンチャク付近の砂にもぐる。

ネジガイ： 殻は太い。殻底（ないし殻縁）に一本の明瞭なスジ肋あり。

ヒメネジガイ： 前種より殻は細く小型で、縦肋は細かい。殻底にスジ肋はない。



ネジガイ



ヒメネジ

25. イソアワモチとヒメアワモチ

…共に殻はなく、楕円形スポンジ状。



イソアワモチ sp.： 背面は緑～灰褐色で黒斑があり、ざらざらした感じ。1-2cm になる。2種あると見られるが、分類が確定していない。

ヒメアワモチ： 背面は黒く、周縁に多数の黒い斑点。前種より小型で5mm程度。クロイソカイメンの上に、まれ。

26. ミドリガイ類… 小型濃緑色の巻貝で、殻は軟体に包まれる。

タテジワミドリガイ： 殻は丸みありブドウガイ的。海藻上、カキやフジツボ死殻内。番所崎では主に本種。

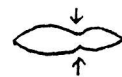
ミドリガイ： 殻は低平でアワビ的。海藻上。

27. アメフラシ類

アメフラシ： 黒地に白斑。この類で最も大型かつ普通。体長45cmまで。

アマクサアメフラシ： 前種に似るが淡褐色。さわって体を縮ませると、腹面後ろ1/3あたりがくびれて吸盤状になる（右図）。

芳香がある。40cmまで。



クロヘリアメフラシ： 茶色地に白点。背面のひだの先が黒い。小型で5cmまで。

ジャノメアメフラシ： 赤茶色の地に大きく黒い目玉模様があり、そこから放射状に黒線が出る。15cmまで。

ミドリアメフラシ： 淡黄褐色。体表に小さく黒い目玉模様が多数散在。<10cm。

28. エガイ類

カリガネエガイ：殻は灰青色。腹端は扁平か、ややくぼむ。殻は不規則にゴツゴツした感じで、縦につぶれて肩が張ったようになることがあるが、フネガイ類ほど著しくない。最も普通で、食用となる。

エガイ：腹端は扁平か、ややふくらむ。殻は均整が取れて通常の二枚貝形に近く、あまり変形しない。

フネガイ：殻は著しく縦につぶれる。上面にひし形の茶色い部分があり、両肩が外側から丸く囲い込むように盛り上がる。

コベルトフネガイ：殻は著しく縦につぶれる。上面にひし形のまっ平らな部分があり、縫合部に白いヤハズ模様（カリガネエガイにも見られることがある）。

※キヌマトイ：エガイ類より小型で殻は薄く、クリーム色で、細かい横シワがある。殻の変形大。



カリガネエガイ

エガイ

フネガイ

コベルトフネガイ

キヌマトイ

29. イガイ類

ヒバリガイモドキ：殻表に孔雀羽状の放射細肋帯が数層。密なコロニーを作る。

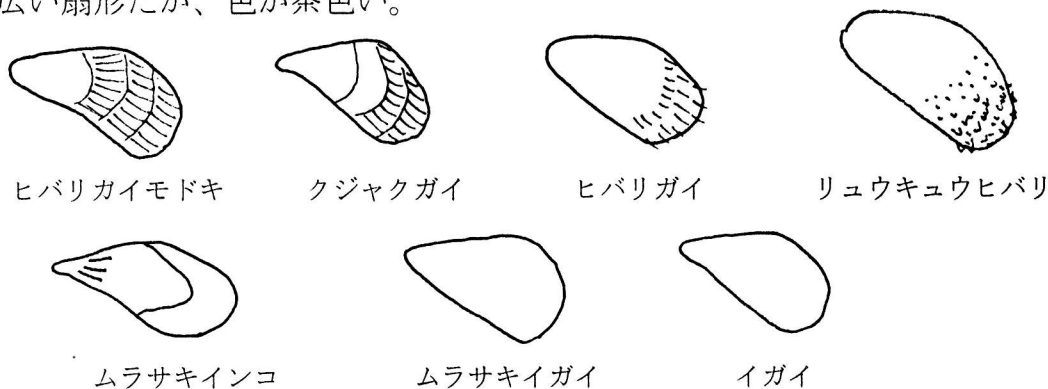
クジャクガイ：模様は前種と同じパターンだが、殻が厚く、縦につぶれてずんぐり。殻頂付近は青く、かぎ鼻状に曲がる。殻縁に毛を生ずることがある。主に単独で岩の隙間などにつく。殻内面の殻頂付近に隔壁あり。

ヒバリガイ：殻表に放射細肋なく、殻縁付近に毛を生ずる。番所崎では鮮紅色の幼貝がまれに出る。

リュウキュウヒバリガイ：殻形はヒバリガイモドキに近いが、殻表に放射細肋がなく、なめらかで、末端付近にモロモロの殻皮をまとう。

ムラサキイガイ：殻は背の高い扇形で放射細肋はなく、光沢のある青紫色。番所崎では先端岩礁のムラサキインコのコロニー内に幼貝が散発する。

イガイ：大型になり、ずんぐりして黒茶色。幼貝はムラサキイガイと似た、縦に広い扇形だが、色が茶色い。



ヒバリガイモドキ

クジャクガイ

ヒバリガイ

リュウキュウヒバリ

ムラサキインコ

ムラサキイガイ

イガイ

※イガイ類幼貝 + クログチ成貝の判別

ヒバリガイモドキ： 殻表に放射細肋

ムラサキインコ： 殻頂付近に粗い放射肋。

ムラサキイガイ： 幅広、扁平の扇形で、殻表ツルツルして青黒い。

クログチ： 殻頂付近が膨らんでずんぐりした感じ。殻頂付近、やや黄色を帯びる。
殻表細肋なく、ツルツル。

30. ウグイスガイ類

…番所崎では主にウグイスガイ科と
マクガイ科。



ウグイスガイ科 マクガイ科 シュモクガイ科

ウグイスガイ科… 殻内面、ちょうつがい部は幅広の一本の歯。

アコヤガイ： 褐色地に暗色の放射色帯がある。最も普通。

ミドリアオリ： 形はアコヤガイと同じだが、数 cm までの小型で白っぽい。幼貝はほぼ純白で、殻縁はギザギザ。大きいものでも殻頂付近は白く、周縁部に白い放射肋と殻縁に白い棘がある。

クロチョウガイ： 幼貝がまれに出る。横幅が広く、同心円状に鱗片が発達し、殻縁の鱗片は指状に突き出す。

マクガイ科… 殻内面ちょうつがい部には、黒い点状のじん帯が並ぶ。

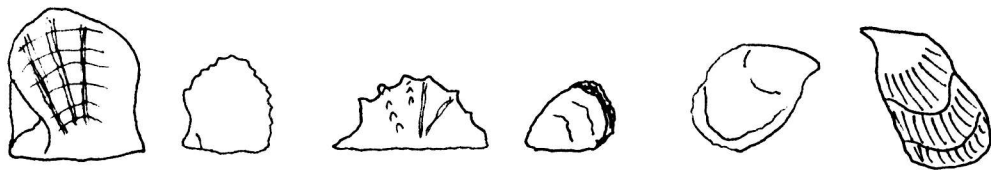
ヘリトリアオリ： 殻表暗灰色でゴツゴツした感じ。1cm までの小型。殻縁が黒く縁取られる。小型では殻縁に黒い指状突起を持つことあり。

シロアオリ： 殻は全体に白い。片殻が他を包むようにふくらむ。

カイシアオリ： 殻は茶色く扁平。放射状の細肋帯が積み重なって、孔雀羽状。

※表面の細肋模様が不明瞭で、殻縁が黒くなるものをカイシアオリ sp. として
区別する。

※近縁のシュモクガイ科は、殻内面ちょうつがい部のじん帯が単一で大きい。



アコヤガイ ミドリ クロチョウ ヘリトリ シロアオリ カイシアオリ

31. カキ類

マガキ： 殻表に褐色舌状のひだがあるが、殻縁付近以外はマメツしていることが多い。かみ合わせは波打つ。

イワガキ： マガキに似るが、殻表に同心円リボン状の、切れ込みのある黒い鱗片帯を持つ。番所崎ではまれ。

ケガキ： 殻表に管状の黒い棘があり、老成すると殻縁付近のみに残る。

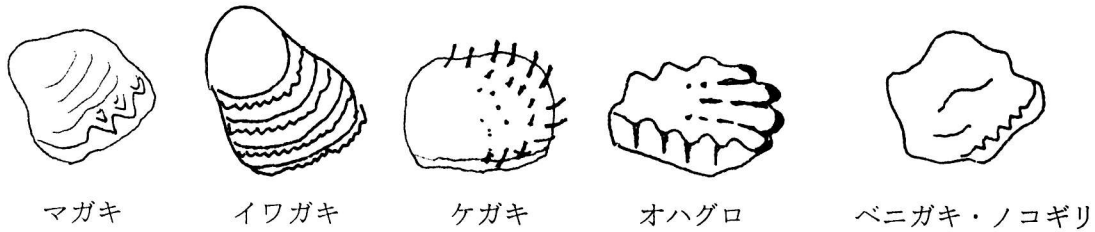
※ケガキの棘が完全にマメツしたものとマガキは区別しにくい。マガキは黄色っぽ

く、殻が薄い感じで、殻縁に黒黄まだらの斑があり、マメツすると金属光沢が出ることが多い。ケガキの内面、ちょうつがいの両側には、上下殻をかみ合わせる点刻列 (chomata) があり、最終的にはこれが決め手となる。

オハグロガキ： 一見して三角形。殻は厚い。殻縁は紫色に彩色。殻の一方が立ち上がり、そこに櫛の歯状の凹凸を生ずる。

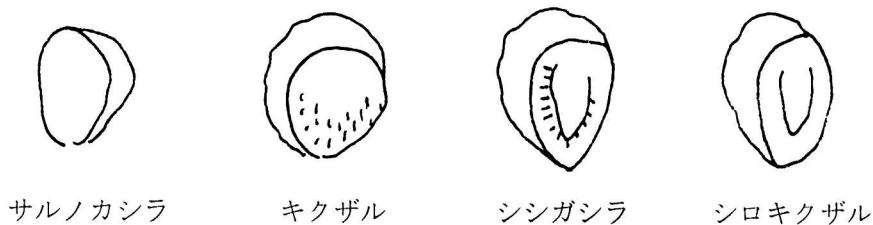
ベニガキ： 殻は白っぽく、紅色の彩色が出ることもある。かみ合わせはノコギリ状。外見はマメツしたマガキのようだが、殻は厚く丈夫。内面はクリーム色単色で、殻縁にシワ状の chomata をもつ。岩礁先端の低所平坦面に散発。

ノコギリガキ： ベニガキに似るが、より大型化し、殻表に粗い放射肋が見える。殻内面は暗緑色を帯び、ちょうつがい両側に丸い点刻状の chomata (上殻の方が明瞭) を持つ。岩礁先端の急斜面に散発。



32. キクザルガイ類 …中型の付着性二枚貝

- [殻は右巻き、殻表に棘はない ----- サルノカシラ
- [殻は左巻きで殻表に筒状の棘を持つ (マメツしていることもある)。上殻は円形またはすそが伸びるひし形。
 - [殻表に段はつかない。内面腹縁に細密な彫刻がある。田辺湾では最も普通。 ----- キクザルガイ
 - [殻表に段がつく。内面腹縁に彫刻はない。
 - [殻表の段の周囲に黒い放射肋あり ---- シシガシラキクザル
 - [同上、なし ----- シロキクザル



索引 (種名+掲載ページ)

アオガイ 4
アコヤガイ 13
アマオブネ 6
アマガイ 6
アマクサアメフラシ 11
アメフラシ 11
アヤマダカラ 8
アラレタマキビ 7
アワジチグサ 6
アワブネ 8
イガイ 12
イソアワモチ 11
イトマキレイシダマシ 9
イボアナゴ 3
イボタマキビ 7
イボニシ 9
イワガキ 13
ウズイチモンジ 6
ウスヒザラガイ 2
ウネシロレイシダマシ 9
ウネレイシダマシ 10
ウノアシ 4
ウラウズガイ 5
エガイ 11
オオクサズリガイ 2
オオシマチグサカニモリ 7
オオシマヤタテ 10
オオヘビガイ 8
オハグロガキ 13
オボロヅキコガモガイ 3
オレンジヘビガイ 8
カイシアオリ 13
カスリアオガイ 4
カミスジダカラ 8
カモンダカラ 8
カラマツガイ 4
カリガネエガイ 11

カワチドリ 8
キクコザラ 5
キクザルガイ 14
キクスズメ 8
キクノハナガイ 4
キヌマトイ 11
キンイロセトモノガイ 8
ギンタカハマ 6
クサイロアオガイ 4
クサズリガイ 2
クジャクガイ 12
クチムラサキレイシダマシ 9
クビレクロヅケ 5
クボガイ 5
クマノコガイ 5
クモリアオガイ 4
クリイロヤタテ 10
クリフレイシ 9
クロアワビ 3
クログチ 12
クロダカラ 8
クロチョウガイ 13
クロヅケガイ 5
クロフレイシダマシ 9
クロヘリアメフラシ 11
ケガキ 13
ケハダヒザラガイ 2
コウシレイシダマシ 9
コウダカカラマツ 4
コウダカアオガイ 4
コガモガイ 3
コシダカガンガラ 5
コシダカサザエ 6
コシマヤタテ 11
コビトウラウズ 5
コベルトフネガイ 11
ゴマフヌカボラ 9
コモレビコガモガイ 3
サクラアオガイ 4

サラサバイ 6
サルノカシラ 14
サンショウスガイ 6
シシガシラキクザル 14
シマメノウフネガイ 9
シマレイシガイダマシ 9
ジャノメアメフラシ 11
シロアオリ 13
シロカラマツガイ 4
シロキクザル 14
スカシガイ 3
スズメガイ 8
スズメハマツボ 7
スソカケガイ 5
セミアサリ 8
タイワンタマキビ 7
タツノコヘビガイ 8
タテジワミドリガイ 11
タマキビ 7
チグサガイ 6
チビアシヤ 5
チャイロキヌタ 8
チャツボ 7
ツタノハ 5
ツマムラサキメダカラ 8
トコブシ 3
ナガシマヤタテ 10
ニシキウズ 6
ニシキヒザラガイ 2
ニッポンレイシダマシ 9
ネジガイ 11
ノコギリガキ 14
ハクシャウズ 6
バテイラ 5
ハナチグサ 6
ババガセ 2
ヒザラガイ 2
ヒバリガイ 12
ヒバリガイモドキ 12

ヒメアワモチ 11
ヒメクボガイ 5
ヒメクリイロヤタテ 10
ヒメケハダヒザラガイ 2
ヒメコザラ 3
ヒメネジガイ 11
ヒメヨウラク 10
ヒラカラマツ 4
ヒラスカシガイ 3
ビロードヒザラガイ 2
フトコロガイ 6
フネガイ 11
ベニガキ 13
ベニシリダカ 6
ヘリトリアオリ 13
ボサツガイ 7
ホソウスヒザラガイ 2
ホソスジアオガイ 4
ホソスジウズラタマキビ 7
マガキ 13
マツムシガイ 7
ミダレシマヤタテ 10
ミドリアオリ 13
ミドリアメフラシ 11
ミドリガイ 11
ムギガイ 7
ムシエビガイ 7
ムラサキイガイ 12
ムラサキウニヤドリニナ 8
ムラサキウズ 6
メダカラ 8
ヤスリヒザラガイ 2
ヤタテガイ 10
リュウキュウヒザラガイ 2
リュウキュウヒバリガイ 12
レイシガイ 9
レイシガイダマシ 9
レイシガイダマシモドキ 9